

寫送先

大臣
次官
電信課長
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

昭和6 九五二三 暗 漢口 十七日後發 亞
本省 七月十八日前着

幣原外務大臣 坂根總領事

第四七七號

往電第四六四號ニ關シ

十七日ノ武漢日報ハ「武漢各會ハ速ニ立テ反日運動ヲ起セヨ」ト題
スル激越ナル社説ヲ掲ケテ上海ノ例ニ倣ヒ至急對日經濟絶交ヲ斷行
スヘント説キ漢口白話報ハ「對日經濟絶交ノ根本的辦法」ト題スル
社説ニ於テ民衆ノ奮起ヲ促シ日貨排斥ノ辦法ヲ掲ケ居レリ
尙本日ノ各新聞ハ依然大々的ノ排日見出ヲ附シ中央ニ於ケル交渉振
及全國各地ノ排日風潮其他各地ノ情報等ヲ特筆大書シ居ル外湖北省

S

11107 405

0260

外務省

寫送先

大臣
次官
電信課長
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

昭和6 九四六六 暗 上海 十七日後發 亞、通
本省 七月十七日後着

幣原外務大臣 村井總領事

第三二八號

當地漢字紙ニ登載セラレ居リタル邦商關係廣告ハ十六日紙上ヨリ掲
出セラレサルニ至レル處右ハ上海市各界反日援僑大會カ十六日附ヲ
以テ全國各地新聞社ニ對シ對日經濟絶交ノ第一歩トシテ我方廣告掲
載差止メ方通電セルニ依ルモノナリ

在支公使へ轉報セリ

北平、哈爾濱、奉天、天津、青島、濟南、南京、漢口、廣東へ轉電
セリ

S

11107 404

0259

外務省

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長

分類(1.1.1.20-2)

昭和6 九四八六 暗 漢口 十七日後發 亞
 本省 七月十八日前着

幣原外務大臣
 第四七五號
 重慶發本官宛電報第八四號
 往電第七九號ニ關シ

其後當地新聞紙ハ連日日本件關係ノ斷片記事(支那人排斥運動ハ日本内地ニモ及ヒ大阪、金澤ノ理髮業民國人ト朝鮮人ト衝突セリトノ在神戶民國領事ノ電報南京及河北民衆カ對日經濟絶交ヲ計畫中トノ新聞電ノ如キハ特ニ人目ヲ惹ケリ)及滿蒙ニ於ケル日本ノ行動施設ニ關スル中傷的記事(十年内ニ千萬人ノ鮮人ヲ滿洲ニ送ル計畫アリ關東

S 11107 407

0262 (記)

外務省

黨部ノ本件ニ關シ全國ニ發シタル排日通電ヲ掲載シ居ル處新民報外二三新聞ハ在北平朝鮮人團體ノ聲明書ト朝鮮日報長春支局長金利三ノ謝罪狀ナルモノヲ掲ケテ排日宣傳ニ供シ居ルカ後者ノ文意ハ一日本領事ノ指揮ヲ受ケ事實ヲ曲ケテ萬寶山事件ヲ針小棒大ニ報告シタル結果兩民族ノ衝突ヲ惹起セルヲ遺憾トスルト云フニアリ御參考迄公使ヨリ上海へ、奉天ヨリ哈爾濱、吉林、長春へ轉報アリタシ

S 11107 406

0261

外務省

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

昭和6 九五〇七 暗

漢口 十七日後發
本省 七月十八日前着

亞

幣原外務大臣

坂根總領事

合第三二號

長沙發本官宛電報第四七號

大臣ニ轉電アリタシ

第五〇號

萬寶山事件並ニ朝鮮事件發生以來當地言論界其他一般ハ何時ニナク
冷靜ノ態度ヲ執リ來レル所最近ニ至リ各新聞ハ本件ハ邦人乃至我當
局カ使喉シ計劃的↓ニ行ハレタルモノナリト各方面ノ消息ヲ傳ヘ
盛ニ誇大且排日挑發的ノ字句ヲ用ヒ省黨務指導委員會ノ如キハ十三

外務省

S 11107 409

0264

州境ニ於テ大仕掛ニ土地ヲ買收シツツアリト云フカ如キ等)ヲ揭ケ
殊ニ十三日ノ新蜀報ノ如キハ今回ノ事件ハ日本人ノ指喉ニ係リ即チ
幣原對支政策滿洲中心主義ノ初步ノ表現ナルニ付單ナル抗議ニ止メ
ス重兵ヲ南滿ニ駐屯セシメ實力防禦ヲ爲スヲ要ストノ社説ヲ掲ケ又
四川省務指導委員會ハ嚴重ノ抗議ヲ中央ニ電請スル等漸次排日宣傳
高マルモノノ如シ
大臣、支へ轉電アリタシ

外務省

S 11107 408

0263

日中央黨部ニ對シ右虛報ヲ前提トシテ本件及重要懸案ヲ徹底的ニ解決シ不平等條約ヲ即時廢棄シ日本帝國主義者ノ侵略的野心ニ根本的打撃ヲ與ヘラレタシト申請スルト共ニ各方面ニ之カ通電ヲ發シ又市黨務整理委員會ニテハ示威大會開催經濟絶交ヲ提唱シ居ルヤニ傳ヘラレタルニ依リ本官ハ十五日何健ニ會見本件ノ真相ト我方ノ公正ナル態度ヲ詳細ニ説明シタル後右誣罔宣傳ニ付抗議シ充分指導取締ヲ行ヒ何等事端ノ發生ナキ様篤ト懇談スル所アリタルカ何ハ現在中國ノ言論機關ハ輿論ヲ代表シ真正ナル消息ヲ報道スルモノニアラスシテ徒ニ一種ノ宣傳機關タルノ觀アリ國交上有益ノ記事ヨリモ寧口有害ノ記事ヲ掲ケントスル傾向アルハ遺憾トスル所ニシテ右ハ國內ノ複雑ナル事情ニモ起因スル次第ナルカ之カ爲新聞ニ對スル一般民ノ

外務省

S 11107 410

0265

信用薄ク其反響モ少キ有様ナリ右示威運動等ニ付テハ未タ聞知セサルニ付取調ヲ行フヘク省政府ニ於テハ此上共兩國ノ交誼ヲ重ンシ在留民ノ保護上遺憾ナキヲ期スヘキハ勿論ナレハ安心アリタシト語レリ
右何健ノ言明ニ拘ハラス當地各新聞及宣傳機關ハ今後共引續キ常套的激越誣罔ノ文字ヲ弄スヘキハ從來ノ態度ニ依リ想像ニ難カラサルカ本件ハ直接當地(ニ)關係ナキ事柄ニ有之且當地方ニ鮮人ノ居住ナク省政府ノ態度ハ大体穩當ニシテ一般民衆モ亦比較的冷淡ナレハ中央ヨリ當地ニ對シ何等煽動乃至使喚ナキ限り目下ノ所特ニ懸念スヘキ事故ノ發生スヘキ虞ナキモノト觀測セラレ
公使、北平、南京ニ轉電アリタシ

外務省

S 11107 411

0266

寫送先

會文人文哲情條通歐
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

亞細亞

第四七六號

幣原外務大臣

昭和6 九五五九 暗

漢口 本省

十七日後發
七月十八日後着

亞通

坂根總領事

往電第四七二號ニ關シ

當地黨部方面ニ於テハ日貨排斥實行ヲ計畫シ目下寄々協議中ノ趣ナ
ルノミナラス國貨運動委員會ニ於テモ之ヲ好機トシテ前電ノ通排日
通電(全文郵報)ヲ發スルト共ニ各新聞ト連絡ヲ保チ大々的ニ日貨
抵制ヲ宣傳シ居ル關係上中國商人中ニハ黨部筋ノ策動案外根強キモ
ノアルト之ニ對スル總商會幹部ノ態度兎角軟弱ニシテ公然黨部ノ行
動ニ反對ヲ唱フルコトナカルヘキヲ見越シ此際或ル程度ノ日貨排斥

外務省

S 11107 413

0268

公使ヨリ上海ニ轉報アリタシ

外務省

S 11107 412

0267

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

(分類 1.1.6.20-2)

昭和6 九五六四 暗 廣東 十七日後發 亞、通
 幣原外務大臣 本省 七月十九日前着 須磨總領事代理

第三〇四號

往電第一九五號ニ關シ

十七日本官他用ヲ以テ汪兆銘、孫科ト會見ノ際當地新聞紙中ニハ朝鮮問題ニ關聯シ華僑等ヨリ日貨排斥運動ヲ再演セシムヘシ等ノ議論ヲ爲ス向アル旨散見スル處斯クテハ甚タ面白カラサル次第ニ付適宜取締アリタキ旨申入レタルニ對シ汪孫ハ上海方面ニハ此種空氣ナキニアラサル模様ナルモ當方面ノ關スル限り左様ノ空氣ナシ又實ハ書面ニテ命令スルハ却テ利用セララル處アルニ付口頭ヲ以テ過般來主

S 11107 415

0270

外務省

運動ハ避ケ難キ勢ナリト觀測シ居ル向相當多キカ如ク昨日來中國商人中本邦品ノ庫出シヲ始ムルモノ續出シ在庫品ニ對スル引合モ頓ニ増加セル實情ニテ現ニ臺灣産砂糖ノ如キモ十兩八分ヨリ一兩十一兩四分ニ騰貴シ一般雜貨類ハ急ニ一割乃至二割高ヲ示スニ至レル趣ナリ

公使ヨリ上海及商務參事官へ奉天ヨリ哈爾濱、吉林、長春へ轉報アリタシ

支、北平、南京、奉天、廣東、天津、鄭州へ轉電シ、重慶、長沙、沙市、宜昌、九江へ暗送セリ

S 11107 414

0269

外務省

ナル團體ニ夫レトナク越軌行動ナキ様内達シ置キタル次第モアリ且
毎週土曜日民衆代表等ト會談スル例ナルヲ以テ其際如何ニモ取締リ
得ヘキニ付御心配ナキ様ニト述ヘ居タリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
北平ヨリ青島へ轉電アリタシ
支。北平、奉天、哈爾濱、天津、濟南、漢口、南京、汕頭へ轉電シ
香港へ暗送セリ

外
務
省

11107 416

0271

REEL No. A-0058

秘

昭和6

暗

長春
本省

七月十七日前着

田代領事

田代領事

0272

第六九號

往電第六五號ニ附シ

當地憲兵分署長ハ其後在旅順憲兵隊長ヨリノ指令ニ依ルモノトシテ

本官ニ對シ左ノ條件貫徹方申出アリタリ即チ

一、在長春中國側最高官憲ノ發ニ出頭陳謝

二、暴行學生ノ所屬學校長及右學校監督者ノ際ニ出頭謝罪

三、暴行學生及暴民ノ際ニ出頭陳謝且相當處罰

四、現場管轄公安局ノ責任者處罰

電信寫

五、被害金品ノ賠償及相當慰藉料要求

六、將來ニ對スル保障

右ニ關シ本官ノ裁量ニ依リ憲兵隊側ノ希望ヲ斟酌シ中國側ニ對シ交

涉ヲ爲シツツアル處ニ對シテハ既ニ公安局長十三日午前憲兵分隊

ニ赴キ陳謝ト共ニ井上軍曹ヲ病床ニ見舞ヒ當館ニ對シテモ陳謝ヲ表

示セリニ對シテハ教育科長ヨリ陳謝ノ意ヲ表スルト同時ニ井上軍

曹ヲ見舞ヒ希望ヲ當館ニ申出アリ三ハ出頭セシムルコト困難ナ

ルモ學生ニ對スル相當ノ處分ハ可能ナリ四モ亦可能五ニ關シテハ最

初ヨリ公安局長其責ニ任スヘキヲ表示シ居リ問題ナシ又六ハ公安局

長吉林往復ニ依リ熙政府主席代理ノ指示ヲ仰キタル結果將來ノ對日

本人城內往來、居住、營業ニ充分ノ保護ヲ保障スルコトトナレリ尙

其後當地學生市民ノ示威運動ハ嚴禁サレツツアリテ事件發生セス

支。奉天、吉林、哈爾濱へ轉電セリ

S 11107 418

S 11107 417

REEL No. A-0058

六七一七二八五〇無線 二見著(六六五)
在南京管沼武官
次官(二二道司令官馬要司令官)
長官(在支各地武官)

第一八番電

一特別市電部ハ本日ヨリ排日經濟絶交ヲ意味スル傳單ヲ市外
各所ニ貼リ附クル等表面的排日行動ニ入レルモ未ダ氣勢甚
レカラズ
二今回ノ事件ニ對シ日本政府ガ責任ヲ回避スルガ如キ態度アルハ
支那國民ノ反感ヲ唆ルスト大ニシテ其ノ結果日支兩國ノ為ニ
憂慮スヘキモノナントセズニトテ軍政部次長陳儀ハ婉曲ニ
之ヲ非難セリ。

十七日

S 11107 419

0273

公第六三一號

昭和六年七月十七日

在中華民國日本公使館

大使館參事官 矢野

外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿



6.7.24

0274

萬寶山事件及朝鮮事件ニ關スル件

本件ニ關シテハ屢次電報ヲ以テ報告ノ次第アリタル處十四日ノ各紙
モ「朝鮮仇華事件、日本側ハ列國ヲ欺罔セムコトヲ企圖シ唯救濟撫
恤ヲ爲シ結了セムトス我方ハ兇犯ノ處罰、賠償ノ目的達成ヲ固持ス
汪公使ノ詳報ヲ俟テ正式交渉ヲ行ハムトス」(全民報)「誓ツテ萬
寶山新國恥ヲ雪カム日帝國主義ノ中國ニ對スル壓迫愈慘ニシテ反抗

S 11107 420

在中華民國日本公使館

愈堅シ」等ノ大見出ニテ朝鮮事件等ニ關スル交渉狀況等ヲ報シ居レ
ルカ他方十三日河北省黨部紀念週ニ於テ委員馬愚忱ハ大要左ノ通講
演セル由

萬寶山事件及排華事件ニ付テハ茲ニ中央ニ對シ抗議方電請セルカ
先週ノ例會ニ於テハ(一)中央ニ對シ(イ)即日凡テノ暴動ヲ停止スルコ
ト(ロ)暴徒及暴動區域内ニ在リシ日本軍警官吏ヲ懲罰スルコト(ハ)被
害華僑ニ對シ撫恤スルコト(ニ)凡テノ損失ヲ賠償スルコト(ニ)中國政
府ニ對シ鄭重謝罪スルコト(ハ)將來此種事件ノ再發スルコトナキ様
保證スルコト(ト)中國ニ入國スル鮮人ハ即時日本國籍ヲ離脱スルコ
ト(ケ)別ニ朝鮮中國間通商條約ヲ締結スルコト等ニ付交渉スルト同
時ニ軍艦ヲ派遣シテ遭難華僑ノ保護救濟ニ任シ且東北ニ於ケル日
本人ノ一切非法行動ヲ制止スル様電請ノ件及(ニ)全國一致シテ日本
ニ當リ政府ノ後楯タル様通電ノ件(三)朝鮮人民ニ告クルノ書ヲ發表
ノ件ヲ通過セルカ吾人ハ帝國主義打倒ノ爲ニハ必ス世界ノ弱小民
族ヲ聯合シテ共同奮闘スルノ要アルヲ確信スルモノナリ而シテ又

在中華民國日本公使館

S 11107 421

0275

中國ト朝鮮ノ團結成功ノ日ハ即日本ノ潰滅ノ日ナリ云々
又十四日ノ華北日報ハ今次事件ハ日本帝國主義ノ革命聯合戰線ヲ破
壞スル毒計ニシテ日本帝國主義者ハ中國及朝鮮ノ共同ノ敵ナリ云々
ト述ヘタル河北省黨部ノ「萬寶山事件ノ爲韓國民衆ニ告クルノ書」
ヲ掲載セリ

尙本件ニ關シ北平晨報、世界日報ノ社説概要左ノ通
マ日本回答ノ橫暴(七月十四日北平晨報社説)
今次ノ朝鮮排華事件ハ大震災當時トハ異リ平和時ニ發生セルモノ
ニテ吾人ハ之ヲ潛伏的變性ノ再發ト認ムルモノナリ日本側ハ中國
政府ノ抗議ニ對シ鮮人問題ノ根本解決ヲ希望シ來レル由ナルモ萬
寶山事件ニ於テ中國ハ何等手落ナキ次第ナルヲ以テ此種朝鮮人間
題ヲ排華事件ト一併處理スルニ於テハ中國ハ二重ノ損失ヲ受クル
コトトナルヲ以テ斷シテ反對ナリ尙本事件ト離シテ吾人ハ中日關
係ノ根本改善ノ必要ヲ認ムルモノナルカ日本ニシテ果シテ兩國ノ
親善ヲ促進シ極東ノ和平ヲ維持セムトスルモノナルニ於テハ現時

在中華民國日本公使館

S 11107 422

0276

ノ如キ畸形ノ状態ニアル兩國關係ヲ是正ノ爲至急平等相互ノ新條約ヲ締結スヘキナリ云々

ニ韓人ヲシテ屯墾セシメサル様注意スヘシ（七月十四日世界日報社説
歐洲ニ於テハ大戰後疆域ノ劃定ハ多數居住民ノ投票法ニ依リ之ヲ
決定スルヲ普通辦法トスルニ至レルカ此原則ニ基キ日本人ノ多數
鮮人ヲ東三省ニ驅リ入ルルヲ觀察セハ戰慄スヘキモノアリ
日本ハ凡ユル方法ニテ鮮人ヲ虐待シテ東三省ニ移住スルノ止ムヲ
得サルニ至ラシメ而シテ移住鮮人カ相當數ニ達スルヲ俟テ煽動方
法ニ依リ暴動ヲ起サシメテ種々ノ利益ヲ獲得シ更ニ將來國際戰爭
アルヲ俟テ民族的方法ヲ以テ東三省ヲ解決セムトス吾人ハ韓人ノ
革命排日乃至自主ヲ計ルニ對シテハ同情援助ヲ爲スヘキモ其日本
人ニ利用セララルモノハ歸國セシムル外ナシ云々

右報告ス

本信寫送附先 代理公使

上海 奉天 哈爾濱 吉林

在中華民國日本公使館

S 11107 423

0277

間島 天津 南京
朝鮮總督

在中華民國日本公使館

S 11107 424

0278

朝鮮亞細

機密第七九六號

昭和六年七月十七日

在間島

總領事 岡田 兼

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

朝鮮事件ニ關シ謠言及誇大ナル
宣傳取締ニ關スル件

本月十四日張籍備處長ハ啓縣長ヲ局子街分館ニ派シ田中分館主任ニ
對シ最近各地ニ於テ一部ノ鮮人カ一般在住鮮人ニ對シ中國側ノ迫害
ノ起ルヘキヲ宣傳シ或ハ鮮内地ニ引揚ケ方ヲ勸誘スルカ如キ言動ヲ
弄スルモノアリ又日本警察官ニ於テモ同様鮮人ニ對シ種々民心ヲ不

在間島日本總領事館



昭和六年七月廿四日



S 11107 425

0279

字
記

安ナラシムル虞アル注意又ハ勸誘ヲナス向アル旨ノ報告ニ接シ居ル
處カクテハ朝鮮事件ニ對シ比較的無關心ナル地方中國人ノ民心ヲ刺
戟惑亂スル結果トナルノミナラス日本側ハ故意ニ事端ヲ醸シ何等野
心ヲ達成セントスルモノニアラスヤトノ誤解ヲ抱クモノアルニ對シ
双方ノタメ甚タ面白カラサルニ付キ互ニカカル行動ヲ取締リ冷靜ナ
ル態度ヲ以テ時局ニ處スル様致度ク右總領事ニ傳達ヲ請フ旨申出ア
リ之レニ對シ田中ハ我方警察官カ時局朝鮮人ノ言動ニ注意ヲ加フル
コトアルヘキモ引揚勸誘其他人心動搖ノ因ヲナスヘキ言動アルコト
悉クアリ得ヘカラサルコトナリ右ハ或ハ不良鮮人カタメニセントス
ル謠言トモ被考ニ付キ一應取調ノ上嚴重取締ルコトト致スヘシ尙中
國側ニ於テモ此際各界ノ言動ヲ十分取締リ就中學生ノ妄動ハ意外ノ

在間島日本總領事館

S 11107 426

0280

事端ヲ惹起シ易キニ付キ嚴ニ監視取締セラレ度シト應酬シタル趣ナ
 ルカ尙本官ヨリ籌備處長ニ對シ田中分館主任ヲ通シ右等出ニ對シ營
 縣長ヲシテ申出ノ次第了承セリ我方ハ出來得ル限り朝鮮事件ノ反響
 ヲ少カラシメ日韓支人間ニ事端ヲ發生セシメサルコトヲ切望シ居ル
 次第ニテ人心ノ不安動搖ノ端ヲナスヘキ謠言及誇張ノ宣傳ハコノ際
 日支双方ニ於テ均シク嚴重取締ヲ希望ス我方新聞ノ取締及部下警察
 官ニ對スル注意等ハ已ニ再三取計置キタルモ此上共更ニ十分注意ヲ
 與フルニ~~可~~カナラス尙中國側ニ於テハ朝鮮事件ノ真相ト我方ノ眞意
 ヲ誤解シ種々ノ宣傳及謠言ヲ流布スル尙アル處右ハ事端釀成ノ因ヲ
 ナスモノナルニ付キ之レカ取締指導方希望スル旨ヲ申入レシメ同時
 ニ管下分館主任及警察機關ニ對シテハ不取贖別紙寫ノ通り訓達シ置

在間島日本總領事館

S 11107 427 0281

ケリ
右報告ス

本信寫送附先

在華公使 上海 南京 北平 奉天 吉林 管下四分館
 朝鮮總督 咸北知事

在間島日本總領事館

S 11107 428 0282

間警機密第五、八八五號

昭和六年七月十六日

在間島

總領事

岡

田

兼

一

各分館主任殿

本館受持區域内各署長殿

朝鮮事件ニ關スル謠言及誇大ナル宣
傳取締方ニ關スル件

朝鮮事件ニ關シテハ新聞紙ノ報道、朝鮮在留中國人ノ通信又ハ當地
方ニ避難シ來レル中國人ノ談話等ニ依リ真相漸次判明シ來レルカ如
キモ今尙無智ナル中國人及朝鮮人間ニ昂奮ト恐怖心相錯綜シ其間虛

在間島日本總領事館

權、誇大ナル謠言傳ヘラレ又中國官憲ヨリノ通報ニ依レハ不良鮮人
カ在住鮮人ニ對シ中國側ノ迫害ノ起ルヘキヲ宣傳シ就中甚シキハ鮮
内地ニ引揚ヲ勸誘スルカ如キモノアリト是亦或ハ一ノ謠言ナルヤモ
揣ラレサルモ此等ハ嘗ニ在住鮮人ヲシテ不安ノ念ヲ昂カラシムルノ
マナラス中國官民ノ神經ヲ益過敏ナラシメ兩者ノ關係ヲ惡化セシム
ルニ至ルヘキ處在住鮮人ノ保護ニ關シテハ中國官憲ト連絡シ遺憾ナ
キヲ期シ居ル次第ニ付此際在留内鮮人ニ對シ言動ヲ戒ムルト同時ニ
徒ニ謠言ニ惑ハサルルコトナキ様諭告セララルト共ニ不穩宣傳等ノ
取締ニ努メラレ度尙警察官カ外部ノ者ニ對シ朝鮮事件ヲ論評スルハ
恰モ我官憲ノ意向ナルカノ如ク誤リ傳ヘラルル惧レ可有之ニ付御注
意相成度此段申進ス

在間島日本總領事館

S 11107 430

0284

S 11107 429

0283

本信寫送付先 各分館署長及分署長

在間島日本總領事館

S 11107 431

0285

亞細亞局

機密第七九七號

昭和六年七月十七日

在間島

總領事 岡田 兼

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

鮮内事件ノ常地方ニ及ホシタル影響報告ノ件

本件ニ關スル各方面ノ情報ヲ綜合スレハ中國人ノ在留鮮人ニ對スル報復的暴行其他日鮮支人間ノ事端發生ハ官憲ノ嚴重ナル取締警戒ニ依リ目下制壓セラレ居ルモ本件カ排日分子ニ利用セラレテ漸次排日運動ノ口實ニ轉化セントノ氣配濃厚トナリツツアルヤニ被認其後ノ狀況中國側ノ宣傳振等何等御參考迄左ノ通り一括報告ス

在間島日本總領事館

S 11107 432

028E

6.7.24

一、中國官憲ノ態度

(イ)新聞紙ノ報道在鮮華僑ノ通信或ハ通電避難中國人ノ談話等ニ依リ虛構誇大ノ報道漸次中國側ニ擴マルニ伴ヒ民衆殊ニ在局子街師範學校生徒教育會農商會代表ノ一部ノ間ニ此ノ際一大示威運動ヲ行ヒ鮮人ノ反省ヲ促スト共ニ輿論ヲ喚起スヘシトノ議論盛ニ行ハレツツアルヲ以テ張籌備處長ハ意外ノ事件發生ヲ慮レト一日延吉市政會議開催ヲ機會ニ市公安各分局長商務會長農務會長劉教育委員村政指導員霍萬程師範學校教師其他民間有力者ト會見鮮内事件ノ真相並中國當局ノ態度ニ關シ詳細説明シタル後當地方ハ日本ト特殊ナル關係ニアリ徒ニ民心ヲ激動シテ報復的

在間島日本總領事館

S

11107 433

0287

行動ヲナスカ如キハ事態ヲ益々惡化シ外交上ノ不利ヲ招ク處レアリ此ノ際民衆一般ハ絶對ニ鎮靜ヲ守リ政府ノ解決ニ待ツヘシト懇諭シ更ニ同日延邊自治促進副會長全盛鎬ヲ呼ビ出シ在住鮮人ヲ指導シ輕舉妄動戒飭方諭告シタル趣ナリ(局子街分館警察

報告

(ロ)朝鮮事件ノ反響トシテ當地方鮮人ニ對シ報復的行爲カ演セラレ場合日本ハ在留民保護ヲ口實トシテ出兵ヲ斷行スルニ到ルヘシトノ觀測中國官邊筋ニ行ハレ居リ殊ニ軍部方面ニ於テハ日本ノ出兵準備ノ謠言ニ迷ハサレ各警備機關ニ嚴重日本軍憲ノ行動内査越境阻止駐在領事ノ行動監視方訓令シ又十二日密偵四名ヲ開山屯方面ニ急派シテ査察セシメ居ル趣ナリ(局子街銅佛寺署長

在間島日本總領事館

S

11107 434

0288

報告ニ據ル

(一)延吉縣公安局長ハ所屬警察機關ニ對シ「朝鮮事件ノ反響延邊地方ニモ波及シ各種團體間ニ不穩ノ計畫アルニ付管内在住華鮮人ノ言動ヲ内査シ外交上不利ヲ招來スルカ如キ輕舉妄動ヲ戒メ他面本件ニ對スル日醫ノ言動ニ注意シ對日交渉上ノ資料蒐集ニ努ムヘシ」ト訓令シタル趣ナリ（銅佛寺署長報告）

(二)和龍縣政府ハ朝鮮國境ニ最近キ開山屯墾方ノ情勢ニ對シ深甚ナル注意ヲ拂ヒ居ルモノノ如ク之カ警廳方開山屯公安局長宛次ノ要旨ノ訓令ヲ發シタル趣ナリ（本館署長報告）

朝鮮事件ハ一部日本官民ノ使噓ノ結果ニシテ之レニ依リ日本ハ年來ノ宿望タル滿蒙出兵ヲ斷行セントノ術策ニ外ナラスト推測

在間島日本總領事館

0289

11107 435

S

セラルモノ時局重大ノ時ニ當リ宜ク部下ヲ戒飭シ流言蜚語ヲ嚴

重取締ルト共ニ小我ヲ捨テ大成ヲ期スル様專心努力シ避難民ノ

江岸集中ハ之ヲ避ケ夫々各地ニ分散時局ヲ靜觀セシムヘシ云々

(三)十三日籌備處長ハ局子街農工商學聯合會ノ代表霍萬程曹夢九張

斌等十餘名ノ有力者ヲ招致シ鮮内ニ於ケル排華暴行事件ハ人道

上許スヘカラサル暴虐行爲ナルモ加害者タル鮮人ハ被壓迫民ニ

シテ唯日本帝國主義ノ手先トナリテ受動的ニ暴行ヲ演シタルモ

ノト見做シ得ヘシコレカタメ中國民カ鮮人ニ對シ直接報復的行

爲ニ出ツルカ如キハ嚴重戒慎シ苟クモ輕舉妄動ナキコトヲ望ム

尙民衆ノ態度ハ次ノ程度ト心得フヘント諭告シタル趣ナリ（常

館譯知ニ據ル）

在間島日本總領事館

0290

436

11107

S

(1) 延邊農工商學聯合會ハ本件ニ關シ公民大會其他ノ民衆運動ヲ起シ曳テハ報復的直接暴行ヲ演スルカ如キ運動ハ之レヲ避クルコト

(2) 同聯合會ハ延邊各縣ノ學校通俗講座等ニ於テ鮮内事件ハ日本ノ侵略政策ノ結果誘起シタルモノニシテ其責任ハ日本政府ニ歸ス依テ日本ハ滿蒙侵略政策ヲ撤回スルト同時ニ謝罪損害賠償ヲナスヲ要ストノ排日的輿論喚起ニ努ムルハ差支ナシ

二、中國民側ノ言動其他

(1) 局子街地方(局子街分館署長報告ニ據ル)

延吉縣教育局附設通俗講習所講師劉起東ハ十一日民衆約五十名ヲ集メ萬寶山事件及鮮内事件ノ責任ハ朝鮮人ニテラスシテ日本

在間島日本總領事館

ナリ日本ハ滿蒙侵略ノ野心ヲ遂ケンカドメ無智ノ鮮人ヲ使嗜シテ萬寶山ノ鮮農ヲシテ中國側ニ反抗セシメ遂ニハ日本ノ憲警カ保護ノ口實ノモトニ出動シテ中國人ヲ殺傷シタル上新聞通信等ニ於テ針小棒大ノ逆宣傳ヲナシ其結果鮮内ニ於テ華僑迫害ノ不祥事ヲ演シタルモノニシテ新ナル國辱ヲ招クニ至リシコトハ忘ルヘカラス然モ吾人延邊ノ中國人カ俄カニ鮮人ニ對シテ報復手段ニ訴ヘンカ虎視耽々タル日本ハ忽チ出兵シテ我領土ヲ占領スルノ舉ニ出スルコト瞭カナル事實ナレハ此際吾人ハ隱忍自重シ輕舉ヲ慎ムコトヲ要スト講演シタル趣ナリ

(2) 銅佛寺地方(銅佛寺署長報告ニ據ル)

銅佛寺地方ハ未ダ特異ノ狀ヲ認メサルモ同地排日家延吉縣立

在間島日本總領事館

S 11107 438

0292

S 11107 437

0291

第五小學校長周潤身ハ十二日上級生徒三十名ヲ校庭ニ集メ民聲
報記事ヲ朝讀シタル後吾カ同胞ニ對シ日本官憲カ責任アル保護
ヲ加ヘサリシ爲メ斯ノ如キ重大事件ノ發生ヲ見タル次第ナルカ
日本ハ常ニ延邊在住鮮人ニ對スル保護徹底セスト中國側ヲ批難
シ居ルニ拘ラス今回ノ失態ハ如何吾人ハ飽迄日本ト對抗シ日本
ノ侵略ヲ排除セサルヘカラサルコトヲ自覺スルヲ要スト講演シ
タル趣ナリ

(ハ) 龍井地方(本館警察署長報告ニ據ル)

在龍井中國人ノ言動ヲ綜合スルニ鮮内ノ如キ警察及軍隊等ノ警
備充實シ居ル地方ニ於テ今次ノ如キ不詳事件ノ發生スル理由ハ
了解ニ苦シム所ナリ或ハ其裏面ニ日本ノ官憲筋ニ於テ鮮人ヲ煽

在間島日本總領事館

S 11107 439

0293

動シタル事實カ伏在シ居ルヤモ知レヌ操シテ右ノ通りナリトセ
ハ日本ノ滿蒙政策ノ野心實行ノタメ中國人ノ鮮人ニ對スル報復
ヲ口實トシテ日本ハ出兵シ吉會鐵道ノ如キ多年ノ懸案ヲ解決セ
ントノ底意ニ出テタルモノトモ考ヘ得ヘシ云々

三、在留鮮人ノ動搖程度

鮮内事件ノ虛構誇張ノ報道巷間流布ノ謠言警語ニ依リ在留鮮人ハ
一般ニ恐怖ノ念ニ驅ラレ二三家族ヲ鮮内ニ引揚ケシメタルモノア
ルニ目下中國側當局ノ態度カ鮮人ニ對スル報復的暴行行爲ヲ絶對
ニナサシメサル機縁重取締ノ手ヲ伸ハシ居ルヲ以テ鮮人ハ不安裡
ニ今後ノ成行ヲ懸觀シ居ルモノノ如シ尤モ兩三日來下級中國人ノ
一部ニハ鮮人ニ對シ罵詈雑言口ヲ眩キ或ハ迫害ヲ加ヘントスル言動

在間島日本總領事館

S 11107 440

0294

要綱第一課

情報部

普通公信第 260 號

昭和六年七月十七日

在汕頭

領事館事務代理

戸根本長之助

外務大臣男爵 幣原喜重郎殿

朝鮮事件ニ對スル新聞論調ニ關スル件

萬寶山並朝鮮事件ニ對スル當地中國人側ノ反映狀況ニ付テハ本月十日附公第ニシテ 號拙信ヲ以テ具報ニ及ヘル次第有之處其後モ當地一般中國民衆ハ頗ル本件ニ對シテ冷靜ニシテ黨部方面ニ在リテモ陳銘樞系ノ委員陳述經、陳特向ノ二名曩ニ國民會議ニ出席シタル儘ニ得ス右二名ノ排日巨頭無キ爲之ニ追隨シ來レル廣東總工會所屬ノ當地各工會亦何等動搖ヲ見セス今ノ處ハ新聞紙上ニ依然他地ヨリノ情

在汕頭日本領事館

S 11107 442

0296

ヲ弄スルモノアリコレカタメ一部鮮人中ニハ不勘前途ヲ憂慮スル傾向漸次濃厚トナリツツアリ
四、中國側新聞ノ論調其他
當地民聲報ハ鮮内事件ノ各地ヨリノ情報在鮮華僑ノ通信通電等ヲ稍煽動的見出シニテ連日掲載シ又暴民鎮壓ニ對スル朝鮮當局ノ不徹底或ハ我方言論機關ノ煽動等ヲ批難スルノ筆鋒ヲ多少表ハシ居ル一方當地方鮮文人ノ輿學妄動ヲ戒メツツアリ
以上

本信寫送附先

在華公使 上海 南京 奉天 吉林 北平 管下四分館
朝鮮總督 咸北知事

在間島日本總領事館

S 11107 441

0295

報ヲ轉載シ居ル程度ナルカ本日ニ至リ汕報ハ「韓案官利用國民外交」ナル題下ニ本件ニ對シテハ日本ニ於テ懲兇、賠償ノ全責任ヲ負フヘキ處日本政府ノ回答ハ全然事件ノ責任ヲ回避シタルカ右ハ南京政府ノ柔弱外交ノ致セル處ニシテ中國今日ノ地位ニ於テ國民ノ助力ナキ限り凡百ノ交渉必スヤ失敗スヘク國民自身モ本件ヲ對岸ノ火災視セシ柔弱外交家ノミニ依頼セス立チテ自救ヲ計ルヘシト説キ當地新聞紙トシテ初メテノ社説ヲ出セリ

右ハ差シテ反響ヲ與ヘサリシカ如クナラモ御參考迄ニ譯文ト共ニ原文ヲ相添ヘ報告申進ス

本信寫送付先 臨時代理公使 北平參事官 廣東 福州 廈門
各領事官 馬公要港部 臺灣總督府

在汕頭日本領事館

S 11107 443

0297

譯文

韓案ハ官シク國民外交ヲ利用セヨ

此度ノ朝鮮排華カ日本ノ中韓聯絡ヲ破壞セントスル詭謀テアリ對華侵略ヲ實施スルノ手段タルハ華人ハカリテナク世界各國モ亦良ク之ヲ知り獨リ各國ノミナラス稍智識有ル鮮人ニ於テモ之ヲ知ラサルナシ一步ヲ讓リテ此度ノ鮮人野蠻慘酷ノ所爲ヲ慥カニ自動的テ被動的ニ非スト認ムルニセヨ韓人ハ日本ヨリ統治セララルヲ以テ日本人ナルニ付國際公法ニ依リ日本側カ犯人ノ懲罰及賠償ノ全責任ヲ負フコト當然ナリ況ンヤ日本ノ警察官カ公衆ノ面前ニ於テ慘殺ニ參加セルコトニ於テオヤ

連日來ノ電報ニ據レハ日本政府ハ南京政府ニ對スル回答ニ全ク本慘案ノ責任ヲ回避シ居レリ此レ固ヨリ日人ノ詭譎ナル常態トナスモ亦南京當局ノ柔弱外交此處ニ至ラシメタルモノナリ思フニ我國ノ現ニ處スル地位ニ於テハ凡テノ交渉ニ國民ノ助力ヲ得サレハ其ノ失敗ハ龜トヲ待タスシテ明カナルカ況シテ今ヤ風雲緊迫ノ折柄國民外交ヲ

S 11107 444

0298

在汕頭日本領事館

前鋒ニ置クコトハ當然ニシテ國民外交ヲ後盾ニ置クヘキニ非ラス國人ハ須ラク知ルヘシ旅韓華僑ヲ殺シ得ハ旅英米獨佛ノ華僑又同様ニシテ鮮人カ華僑ヲ殺シウトセハ英、米、佛、獨人ニ於テモ我華僑ヲ殺シ得ストセス「易經」ニ曰ク「履霜堅氷」是レ其兆ナリ
吾人若シ徒ラニ此ノ柔弱外交家ノミヲ信賴シ速カニ起キテ自救セサレハ恐ラク世界ハ廣シト雖將シ華人ノ立足スヘキ餘地無キニ至リ華人多シト雖モ各國幾同ノ殺戮ニ當ルニ足ラサルヘシ是ニ於テカ今日ノ韓案問題ハ即チ我カ後日ノ亡國滅種ノ前兆ナリ願クハ同胞ヨ對岸ノ火視スル勿レ

在汕頭日本領事館

S 11107 445

0299

社評
韓案宜利用國民外交 (大刀)

此次韓人排華。爲日本破壞中韓聯絡之詭謀。實施對華侵畧之手段。不惟華人知之。即世界各國亦盡知之。且不獨各國知之。即稍暗識之韓人亦固不自知之。更退一步言。認此次韓人野蠻慘酷之所爲。實自動非被動。然韓人既統治於日本。韓人即日人。依國際公法。日方應負懲兇賠償之全責。況明明有日警於萬日腰際中參加慘殺乎。
據連日電訊。日政府覆照到韓。對此慘案完全諉卸責任。此固爲日人之詭譎常態。然亦幸當局之柔弱外交請以救之。記者以我國現處地位。凡百交涉。若不得國民助力。其失敗不待言。况當此風雲緊急之秋。尤當置國民外交於前鋒。不當置國民外交於後盾。我國人須知旅韓華僑可殺。旅英美德法之華僑又何不可殺。韓人可殺華僑。英美法德等國人又何不可以殺華僑。易曰。履霜堅冰。此其漸也。吾人若徒依賴柔弱之外交家。不亟起而自救。吾恐世界雖大。將無華人立足之區。華人雖多。寧足當各國幾同之殺。是今日之韓潮。即爲他日亡國滅種之先兆也。願同胞勿以隔岸火視之。

七月十七日
汕報 抱負

在汕頭日本領事館

S 11107 446

0300

前鋒ニ置クコトハ當然ニシテ國民外交ヲ後盾ニ置クヘキニ非ラス國人ハ須ラク知ルヘシ旅韓華僑ヲ殺シ得ハ旅英米獨佛ノ華僑又同様ニシテ鮮人カ華僑ヲ殺シウトセハ英、米、佛、獨人ニ於テモ我華僑ヲ殺シ得ストセス「易經」ニ曰ク「履霜堅氷」是レ其兆ナリ吾人若シ徒ラニ此ノ柔弱外交家ノミヲ信賴シ速カニ起キテ自救セサレハ恐ラク世界ハ廣シト雖將シ華人ノ立足スヘキ餘地無キニ至リ華人多シト雖モ各國幾回ノ殺戮ニ當ルニ足ラサルヘシ是ニ於テカ今日ノ韓案問題ハ即チ我カ後日ノ亡國滅種ノ前兆ナリ願クハ同胞ヨ對岸ノ火視スル勿レ

在汕頭日本領事館

S 11107 445

0299

社評
韓案宜利用國民外交 (大刀)

此次韓人排華。爲日本破壞中韓聯絡之詭謀。實施對華侵畧之手段。不惟華人知之。即世界各國亦盡知之。且不獨各國知之。即稍稍智識之韓人亦不自知之。更退一步言。認此次韓人野蠻慘酷之所爲。實自動非被動。然韓人已統治於日本。韓人即日人。依國際公法。日方應負懲兇賠償之全責。況明明有日警於萬日膠中參加慘殺乎。據連日電訊。日政府覆照到韓。對此慘案完全諉卸責任。此固爲日人之詭譎常態。然亦寧當局之柔弱外交請以致之。記者以我國現處地位。凡百交涉。若不得國民助力。其失敗不待言。況當此風雲緊急之秋。尤當置國民外交於前鋒。不當置國民外交於後盾。我國人須知旅韓華僑可殺。旅英美德法之華僑又何不可殺。韓人可殺華僑。英美法德等國人又何不可以殺華僑。易曰。履霜堅冰。此其漸也。吾人若徒依賴柔弱之外交家。不亟起而自救。吾恐世界雖大。將無華人立足之區。華人雖多。寧足當各國幾回之殺。是今日之韓潮。即爲他日亡國滅種之先兆也。願同胞勿以隔岸火視之。

七
月
廿
七
日
汕
頭
日
報
社
評

在汕頭日本領事館

S 11107 446

0300